

れんけい だより

Vol. 85

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌
共済組合連合会

地域医療支援病院

救命救急センター

周産期母子医療センター

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

がんゲノム医療連携病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川県災害医療拠点病院

DPC 特定病院群

病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)



CONTENTS

新入職員オリエンテーション	P 2
副院長ご挨拶	P 3
部長就任のご挨拶	
外科、膠原病・リウマチ内科、緩和ケア内科	P 4
市民公開講座	
良性疾患を学ぼう	P 6
大腿骨骨折	P 7
臨床研修医修了証書授与式	P 8
新入職員歓迎会	P 9
診療科紹介	
乳腺外科	P 10
新規検査紹介 [中央放射線科]	
骨密度測定	P 10
医療機関訪問	P 11

2025年度

新入職員 オリエンテーション



新入職員を迎えて ～さらに魅力のある病院へ～

いつもお世話になっている連携いただくみなさま、一緒に患者さんや市民に安心できる医療を提供できることに感謝いたします。

さて春爛漫の4月1日、当院にフレッシュな237人のスタッフを迎えることができました。これで医師が250人、ナースが863人などみなで1,772人の所帯となりました。万全の体制でご紹介いただく患者さんの健康を守るべく、診療にあたっていきます。

今年も世界的な雑誌Newsweek誌のWorld's Best Hospitalsに、7年連続で選出されました。日本で選ばれた195病院中、39位となっています。これは、患者さんや他の医療機関からの評価を初めとするキーとなる指標を元にランキングされるもので、たいへん光栄に存じております。

理念の「よかった。この病院で」の通りに患者さん、スタッフ、市民みなによかったと思われる病院であるよう努めてまいりますので、今後ともどうかよろしくお願いいたします。

横須賀共済病院
病院長 長堀 薫

副院長
ご挨拶



小林 一樹

経歴

平成4年 山形大学医学部卒業
平成18年 横須賀共済病院 泌尿器科 医長
平成25年 横須賀共済病院 泌尿器科 部長
令和元年 横須賀共済病院 診療部長
令和7年 横須賀共済病院 副院長

資格

医学博士
横浜市立大学医学部臨床教授
日本泌尿器科学会専門医
日本泌尿器科学会指導医
がん治療認定医
泌尿器腹腔鏡技術認定医
日本内視鏡外科学会泌尿器科部門腹腔鏡技術認定医
泌尿器ロボット支援手術プロクター（前立腺 腎 膀胱）

横須賀三浦半島の医療機関と連携し、 最良の医療提供体制を目指します

このたび、令和7年4月より副院長を拝命しました小林一樹と申します。これまでも診療部長および泌尿器科部長として、地域の皆さんや関係機関の皆さんには大変お世話になっています。

当院は地域の中核病院として、多くの救急患者さんを受け入れ、幅広い症例に対応できる体制強化に努めています。今後も「困ったときに頼りになる病院」として信頼される存在を目指し、診療の質と組織体制の向上に取り組んでまいります。

地域がん診療連携拠点病院として、がん治療にも力を入れています。がん疾患を中心にロボット支援手術を2017年に開始し、2023年には最新機種「ダ・ヴィンチXi」を導入。症例数も増加しています。今年度中には装置の増設も予定しており、低侵襲で質の高い手術を多くの患者さんへ提供できる体制を整えています。化学療

法では、通院しながら継続できるよう外来化学療法室の充実を図り、生活の質(QOL)維持にも配慮しています。さらに、最新の放射線治療装置を活用し、高精度かつ安全な治療を行っています。当院はがんゲノム医療連携病院にも指定されており、診療科を越えた連携のもと、個別化医療の推進に取り組んでいます。

また、「がんセンター」を立ち上げ、がん診療の質向上を目指して、専門職が密に連携しながら最適な治療提供に努めています。

地域医療介護情報ネットワークシステム「さくらネット」の開始により診療情報の共有が進み、効率的な医療提供が可能となりました。今後も地域の医療機関と連携を深め、横須賀三浦半島地域の医療の発展に貢献してまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

部長就任のご挨拶

Greeting of chief director assumption

Profile

熊本 宜文

出身校

横浜市立大学
平成12年(2000年)卒

専門領域

肝胆膵疾患の外科治療・
腹腔鏡下治療

認定資格

医学博士
日本外科学会認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医(肝)
日本肝胆膵外科学会評議員・高度技能専門医
日本肝臓学会専門医・指導医
日本胆道学会指導医
Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon

拡大手術から低侵襲手術まで、患者さんの病状に応じた適切な治療を提供します

2025年4月より外科部長に就任しました、熊本宜文(くまもと たかふみ)と申します。

横須賀共済病院には、2001年、2002年に外科医として、2007年には救命救急センターにて勤務させていただきました。前任の横浜市立大学附属病院では15年にわたり、肝胆膵の悪性腫瘍に対する外科治療と、肝不全患者に対する生体部分肝移植に携わってまいりました。これまで培ってきた経験を活かし、血管合併切除を伴うような拡大手術から、腹腔鏡下手術やロボット支援下手術といった低侵襲手術まで、患者さんの病状に応じた最適な治療を提供してまいります。また、外科的対応が必要な腹部救急疾患にも迅速かつ適切に対応し、横須賀・三浦医療圏の「最後の砦」として地域の救急医療を支える所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

Profile

木村 直樹

出身校

東京医科歯科大学医学部医学科
平成18年(2006年)卒

専門領域

膠原病全般
多発性筋炎・皮膚筋炎
関節リウマチ

認定資格

総合内科専門医
リウマチ専門医
リウマチ指導医
リウマチ学会登録ソノグラファー
医学博士

炎症性疾患の診断と治療を通じて地域の対応力を高めます

2025年4月より膠原病・リウマチ内科部長を拝命いたしました。これまで当科は非常勤医による外来診療のみでしたが、これからは常勤医2名、非常勤医1名で三浦半島の基幹病院としての役目を果たせるよう、しっかりと体制を整えていきたいと考えております。関節リウマチをはじめ膠原病全般を対象とし、さらには不明熱や分類不能関節炎、診断困難な炎症性疾患なども、的確な診断と治療へつながるよう、病院の総力をあげて診療し、患者さんの健康課題解決に努めたいと考えます。家族性地中海熱やクリオピリン関連周期熱症候群などの自己炎症性疾患や、分類不能型免疫不全症(CVID)、CTLA-4ハプロ不全症などの先天性免疫異常症の診療経験もありますので、必要に応じて東京科学大学病院(旧 東京医科歯科大学病院)とも連携しながら、診断や治療にあたります。

私自身は2018年から当院で週1回外来診療を行っており、地域の先生方の中にはすでに患者さんを通じてお世話になっている方々もいらっしゃいます。私どもが扱う疾患はいずれも慢性疾患ですので、これからは地域の先生方ともより良い連携体制を構築していきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

Profile

吉田 謙一

出身校

宮崎医科大学
平成8年(1996年)卒

ELTC-The University
of Edinburgh, English
for Medicine 平成23年
(2011年)修了

専門領域

オンコロジー(胆道、乳腺)
緩和ケア一般
外科一般(消化管、乳腺、ヘルニア)

認定資格

American Association for Cancer Research, Active Member
がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 集合研修企画責任者
日本外科学会専門医

急性期病院が緩和ケアを行う意義

2025年4月より緩和ケア内科を担当させて頂くことになりました、吉田謙一と申します。

急性期病院における緩和ケアは、多くの意義を持ち「診断直後からの生活の質の維持」「治療と緩和の両立」「適切な療養環境の整備」「多職種連携の促進」、ひいては「病院の機能強化」があります。

緩和ケア内科では、これらの安定化、強化を図ることで、横須賀・三浦地区の患者さん、当院、そして社会に貢献していきたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

これまで外科(乳腺)で8年間、診療させて頂きましたが、こちらにも兼務させて頂きますので、引き続き宜しくお願い致します。

外科 部長

膠原病・リウマチ内科 部長

緩和ケア内科 部長

良性疾患を学ぼう

PROGRAM

総合司会

診療部長 兼 泌尿器科部長
小林 一樹

講演 1

胆道良性疾患～胆石症を中心に
外科部長 野尻 和典

講演 2

体表の良性腫瘍と眼瞼下垂
形成外科部長 柏木 慎也

講演 3

腎と尿管結石～診断・治療・予防～
泌尿器科部長 小林 一樹

参加者アンケート

普段の受診の時には詳しく伺えない事をよく聞くことができ、安心材料になりました。

非常に分かりやすく、今後の健康維持の参考になりました。

治療を受けるタイミングなども分かりやすく教えてもらえて良かったです。

※役職名は 2025 年 1 月時点の表記です



「大腿骨骨折」

～次の骨折を予防するためにできること～

「骨折予防」をテーマに市民公開講座を開催し、当日は約 90 名の方にご来場いただきました。骨を強化して、骨折を予防するための知識を深めていただく重要な機会となりました。



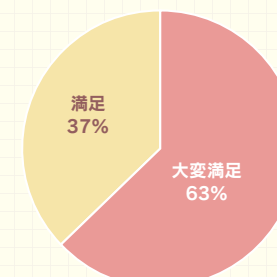
参加者アンケート

今日のお話を聞いて、食事・運動 生活習慣を見直しケガをしないように気をつけたいと思います。

次の骨折を予防するために、さまざまな職種の方から分かりやすくお話をいただき、参加して良かったです。多職種で連携し治療されているということで安心・信頼できるなと思いました。

食事、運動、環境の大切さ、多職種との連携と二次骨折予防の大切さを学びました。どの講演も分かりやすかったです。骨粗しょう症予防は意識して生活したいと思います。

講演の満足度



2025年3月21日

2024年度

臨床研修医 修了証書 授与式

初期臨床研修を修了した13名（医科12名・歯科1名）を対象に修了証書授与式を開催しました。
4月からはそれぞれの道へ向かって新たな第一歩を踏み出します。



病院長 長堀 薫



臨床研修管理委員会委員長 小林 一樹



外科 江口 昌典

初期臨床研修から外科専門医を目指して

この度、横須賀共済病院初期研修医プログラムを修了し、今年の4月より外科後期研修医として3年間お世話になる江口と申します。

当院での研修の2年間は非常に刺激的なものでした。何もできなかった1年目の最初からここまで成長できたのは、上級医の先生方を始め、当院の医療スタッフの方々のお陰です。大変感謝しております。

全応需を掲げる救急外来で同期や先輩、後輩と共に多忙な業務を乗り越えることができた経験は今後の医師人生の糧になると確信しております。基幹研修医12人の内6人が医師3年目として引き続き当院で働くこととなり、当院の働きやすさや教育体制が充実していることを物語っていると感じております。

仲間達と共に今後も支え合いながら、診療に邁進し三浦半島の医療に貢献できるように日々尽力していく所存であります。

ご寵愛を頂ければ幸いです。

2025年度 新入職員 歓迎会

… 4月1日開催 …

ひとりひとりの輝きが
明日の横須賀共済病院を支えていきます。



乳腺外科



(中央) 医長 須藤 友奈
(右) 医長 吉田 謙一
(左) 医長 鈴木 千穂

2025 年 3 月 31 日付で鈴木千穂 医師が退職となり、4 月より須藤友奈 医師が着任しました。

新たに 4 月より吉田医師・須藤医師を中心に看護師・検査技師・放射線技師他、「乳がん治療チーム」が一丸となり乳がん治療にあたり、患者さんのライフスタイルに合わせた治療支援ができるよう、心掛けて参ります。

お気軽にご紹介・ご相談ください。

外科 医長 須藤友奈

乳がんは幅広い世代を悩ませ、治療も長く多岐にわたることが多い病気です。先生方からご紹介頂いた大切な患者さんに、適切な治療をご提供しつつも、一人ひとりの個性にあわせたより良いチーム医療をお届けできるよう精進して参ります。

専門領域	乳腺外科
認定資格	・日本外科学会 外科専門医 ・日本乳癌学会 乳腺専門医 ・NPO日本乳癌検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医
出身校	横浜市立大学 平成 26 年 (2014 年) 卒

新規検査紹介 [中央放射線科]

骨密度測定

この度、骨密度測定装置 DEXA の更新に伴い、GE healthcare の PURODIGY FUga Advance が導入されました。

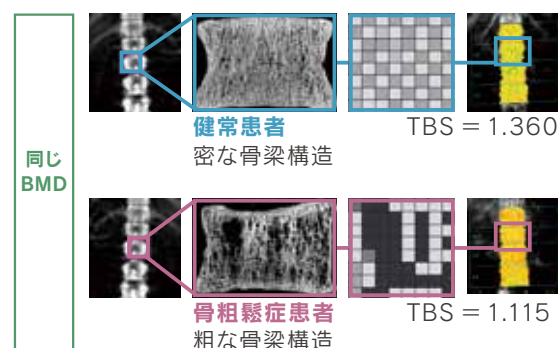
近年、骨粗鬆症の患者数は高齢化と共に上昇傾向であり、DEXA の検査数もこれに伴い増加しております。新しい DEXA では新機能として海綿骨構指標ソフトウェア TBS が搭載されています。TBS とは DEXA で計測された腰椎画像の画素濃度を解析して算出された骨の微細構造を評価する値であり、従来の骨密度測定 (BMD) を補完する新しい指標となります。また、追加検査が不要で既存の DEXA スキャンデータを用いて計算するため、新たな被ばく量の増加等も無く、今までと同様の手順で検査が可能となっています。この TBS は骨折リスクの評価に役立ち、特に透析患者さんやステロイド治療を受けている患者さんの骨質評価に有用となります。

ぜひ、この機会に骨密度測定装置 DEXA を活用し、治療計画や骨折予防にお役立てください。



TBS の原理

TBS は、BMD とは無関係に骨折リスクと関連するテクスチャ解析を使用した骨の微細構造指標です。



医療機関訪問



新規開業 2025 年 3 月 7 日

つうらクリニック

2025 年 3 月 7 日に久里浜 5 丁目に内科・病理診断科で開業しました津浦です。共済病院では病理診断科、中央検査科をお任せいただき、20 年間勤務致しました。“病理の津浦がなぜ臨床で??” と思いの方も多いとは存じますが、母校福島県立医大の関連施設での内科研修に端を発した臨床と病理との 2 足のわらじ状態は 30 年を超えます。この間、病理は全科を対象とした診断部門であり、その病理の知識や経験がこれまでの実臨床で役立つことも多かったです。

当クリニックでは、十分な検査機器を駆使して患者さんの状態を正確に把握し、もっとも適切な医療がうけられるように橋渡しのできる内科クリニックを目指しております。また、病理のセカンドオピニオンもお受けするつもりです。市中に飛び出した初老の病理医ですが、地域の患者さんの役に立つように精進してまいります。どうかよろしくお願いいたします。



院長 津浦 幸夫 先生



移転・新規開設 2025 年 6 月 16 日

久里浜横井クリニック

このたび開院から 35 年という節目の年を迎え、6 月 16 日をもってリニューアルオープンする運びとなりました。院長 (父・横井隆志)、副院長 (次男・横井英人)、副院長 (三男・横井育宝) の親子三名が力を結集し、「一次救急」「訪問診療」「入院管理」の三本柱を核とした、全国でも類を見ない大型多機能クリニックを立ち上げます。この新クリニックでは、脳神経外科専門医による最新鋭 CT・MRI を駆使した「頭痛・しびれ外来」、また、消化器内科専門医による鎮静下内視鏡検査も新たに導入いたします。とりわけ注目すべきは、在宅医療と有床診療所の融合です。訪問診療における入院ニーズに応える体制として、軽度急性期の対応をはじめ、レスパイト、緩和ケア・看取りといった多様な受け入れを可能とし、「頼れる小さな病院」としての役割を担ってまいります。こうした取り組みは、地域医療機関の皆様との連携なくしては実現できません。おかげさまで、横須賀共済病院様には、2022 年より次男・英人が月 2 回の救急当直にて微力ながら貢献させていただいており、今後も継続させていただく所存です。信頼される医療機関であり続けられるよう、なお一層努力してまいります。何卒変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



(中央) 院長 横井 隆志 先生
(右) 副院長 横井 英人 先生
(左) 副院長 横井 育宝 先生



あゆみ保育園 お別れ会

2025年3月10日



退職医師 2025年3月31日付

■外 科…鈴木 千穂、太田 絵美、高島 琢朗
■眼 科…佐藤 佑
■救 急 科…船山 彩夏、祐森 章幸、森 来実、武川 竜朗、貞廣 智瑛梨
■形 成 外 科…坂田 芳洋、大関 亮介
■血 液 内 科…坂東 夏菜、島田 智仁
■呼吸器外科…諸星 隆夫
■呼吸器内科…鴨志田 達彦、熊谷 隆
■産 婦 人 科…富永 貴恵、佐久間 千尋
■歯科口腔外科…大見 寧
■耳鼻咽喉科…百束 紘、勝又 德行、澤熊 香衣
■循環器内科…松本 拓己、荒井 峻太郎、益本 寛之
■小 児 科…富樫 勇人、野原 千広、龍崎 理誠、松井 洋史
■消化器内科…金城 美幸、井村 里佳、越後貴 舜

■腎 臓 内 科…大谷 恵、吉田 鈴、岡井 一弘
■整 形 外 科…伊沢 友憲、門田 唱平、鈴木 宙、小笠原 康介、戸田 圭輔、松本 淳一朗
■精 神 科…山田 成人
■内 分 泌 糖 尿 病 内 科…赤松 遼一
■脳神経外科…岡崎 耀太郎、土屋 雄介
■脳神経内科…佐藤 紗也子、高橋 直
■泌 尿 器 科…下田 萌斗、井上 雅弘、今野 真思
■皮 膚 科…酒井 あゆみ、足立 奈菜
■放射線治療科…池田 新
■放射線診断科…小口 翼、丸尾 綾佳
■麻 酔 科…波平 めぐみ、野口 遥地、長嶺 一輝、市川 美紅

理 念

よかった。
この病院で

患者さん・家族・職員
すべての人が安心できる
病院をめざします

編集後記

春のあたたかな陽気とともに、新年度がスタートしました。

春の訪れを告げるシンボル「菜の花」。

大地に力強く根を張り、太陽に向かって真っすぐ育つ姿は見る人に活力と希望を与えてくれます。

希望を胸に新しい目標に向かって進むことで、心豊かな日々となるのではないのでしょうか。

本年度も、横須賀共済病院とれんけいだよりをよろしく願いいたします。

地域連携室 加藤・面川・宮坂

国家公務員共済組合連合会
横須賀共済病院

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通1-16

TEL 046-822-2710(代表) FAX 046-825-2103(代表)

地域連携センター地域連携室

TEL 046-827-1117(直通)
FAX 046-823-5020(直通)



横須賀共済病院

LINE 公式アカウント

友だち募集中



@ykh_line

YKH れんけいだより vol.85

発行日

2025年(令和7年)
5月29日

編集

地域連携センター
地域連携室